



財部高校跡地を 新たな畜産拠点へ

南九州畜産獣医学拠点の整備に進みだした財部高校跡地

市では財部地区の振興を図るため、財部高校跡地の活用策についてあらゆる角度から検討を進めてきました。

畜産が基幹産業である本市としては、鹿児島大学と連携した畜産獣医学拠点を誘致および整備することにより、常駐する教員や実習学生な

どの交流人口の増加、地域の獣医師・畜産技術員や畜産農家との連携による家畜飼養・防疫などの知見・技術力の向上など地域畜産の更なる振興が期待されます。大学および地域企業・団体などとの産学官連携を図り本拠点の誘致および整備を推進していきます。

基本構想の概要



将来を担う人材育成・確保

- ・市外からの新しい人の流れ
- ・国際的な獣医師の育成・輩出
- ・地域獣医師の確保
- ・獣医師体験学習を通じた、将来の人材確保



地域畜産技術者のスキルアップ

- ・防疫、衛生管理のスキルアップ
- ・国際基準の生産工程管理の知識と技術の取得
- ・次世代閉鎖型畜舎の研究開発



産業の創造・技術革新

- ・レンタルラボおよび共同研究スペースを配置し、新たな産業の創造



動物福祉

- ・動物福祉に配慮した家畜飼養管理の実証と教育



交流人口

- ・馬や産業動物と人との新たな関係による交流人口の増加（福祉政策との連携）

曾於市と鹿児島大学が協力して整備します

曾於市と鹿児島大学がもつ資源や機能などの効果的な活用を図りながら相互に連携・協力し畜産獣医学分野の拠点整備を行います。

- 地方への新しい人の流れをつくりたい！
- 地域産業の人材を確保、育成したい！
- 地域の畜産関係者の学びの場をつくりたい！
- 財部高校跡地を活用したい！
- 新たな産業を研究・創出したい！



- 実践的学部教育を充実させたい！
- 臨床実習用産業動物を確保したい！
- 地域獣医業との実習体制を構築したい！
- 動物福祉に配慮した畜産農場をつくりたい！
- JGAP 指導員資格の取得・更新をしたい！



西日本の畜産および
獣医学の拠点となる施設

「南九州畜産獣医学拠点」を整備
(財部高校跡地)



※ JGAP とは食品安全や環境保全などに取り組む「農場」に与えられる認証です。

施設の全体図

肉用鶏

閉鎖型鶏舎 5000 羽規模



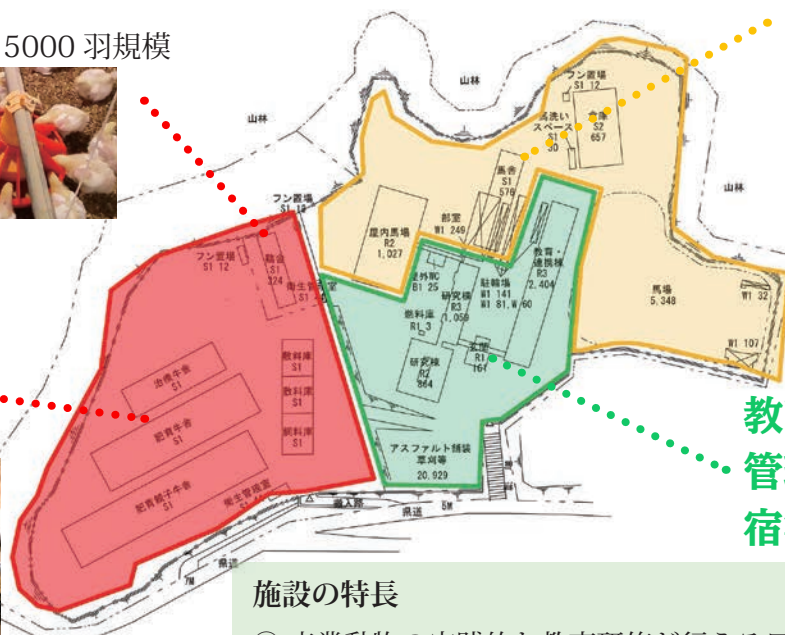
馬

馬舎 20 頭規模



牛

次世代閉鎖型牛舎
(和牛一貫飼育)
最大 400 頭規模



教育・連携棟
管理・研究棟
宿泊施設

施設の特長

- ① 産業動物の実践的な教育研修が行える日本初の施設。
- ② JGAP 研修を受けることができる。
- ③ 最新の防疫管理を学べる。
- ④ 動物の製薬企業・飼料メーカー・代替肉などの研究開発業務ができる。

計画の内容は12月号以降も連載していきます。

お問い合わせ

企画課 ☎ 0986-76-8802